



# れんげ畑

鴻巣市立鴻巣中央小学校  
令和元年11月号

学校教育目標  
キャッチフレーズ  
ホームページ

【知】友と学ぶ子 【徳】心の豊かな子 【体】体をきたえる子  
「はきはき・にこにこ・きびきび」  
<https://kochuo-e-konosu.edumap.jp/>

児童数375人

## 26歳の誕生日

校長 清水 励

台風19号・21号、そして、その後の記録的な大雨により、犠牲になられた方々とその御遺族の方々に、謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。台風19号では、これまでにない広い範囲に大きな爪痕を残し、埼玉県内にも大きな被害をもたらしました。台風上陸時には、中央小近辺でも多くの場所で水が上がり、「免許センター通り」の数か所でも、自動車での走行が危険なほど用水路から水が溢れ出て流れていました。夕方より開設された本校の避難所には120名程の方々が避難されてきましたが、日付の変わる頃に、風雨がおさまり始めると御自宅へ戻られる方々も多くいらっしゃいました。避難所設営にあたり、激しい風雨の中、開設準備や徹夜での運営をしていただいた市職員の方々に心より感謝申し上げます。学校施設等は、体育館出入り口鉄扉からの雨水侵入、家庭科室の雨漏りの2点ほどで、大きな被害はありませんでしたが、被災された方々の一日も早い日常生活の再開を心より願います。

さて、11月2日（土）は本校26年目の開校記念日です。本校は、平成6年に鴻巣市内12番目の小学校として、鴻巣東小学校の児童増加にともない開校しました。

平成6年11月2日（火）に石原 完初代校長（現鴻巣市教育委員会教育長職務代理者）のもと落成式が行われ、この日を開校記念日としました。落成式は、500人余の方々が参列される中、完成したばかりの校歌を作曲者である天沼裕子氏の指揮により5、6年生が披露するなど、とても盛大に行われたとのこと。開校当時の児童数は660名で学級数は19学級でした。

本校の「学校沿革史」の1頁にこんな記載があります。

「校地は、旧国立農業試験場の試験田であり、かつては一面に蓮華の花が咲き乱れた美しい田園風景があったそうである。しかし、ここ20年来生出塚団地、ひばりの団地等の住宅開発が進み、かつての田園風景は一変し、校区の大半は個人の住宅で占められている。さらに、市役所・県免許センター・市立陸上競技場等が並び、校庭前の試験田跡地には近隣公園・文化センターの建設が計画されている。十年一日が如く、かつての蓮華の里は大きく変わりつつある。」（原文で記載）

「歴史と伝統」という言葉を使うには、本校の歩んできた四半世紀余の時間は短いかもしれませんが、本校なりの「素晴らしさ」はたくさんあります。そして、この「素晴らしさ」は、目の前にいる子供たちのより良き成長を一番に願ってきた教職員・保護者、地域の方々の努力と、そして、それに答えるべく自分の頑張るべきことを一生懸命に頑張ってきた多くの児童たちが作り上げてきたものです。「不易流行」の本質である「変わらざる部分と変わる部分の根幹は一つ」ということを忘れず、鴻巣中央小学校が、本校で学ぶすべての児童にとって素晴らしい学校となるよう、今後も取り組んでまいります。

誰しも思い出の片隅に「心の原風景」があると思います。それは、子供の頃、心に刻まれた景色だったり、匂いだったり、人との出会ったり…。社会の変化は日々加速し、子供たちを取り巻く環境も大きく変わりつつありますが、子供たちが大人になった時に、子供時代を思い出す懐かしい「心の原風景」が豊かで、さらに次代につながるものであることを心より願います。